

2025 年 年頭所感・提言
「病院・医療界の未来につなぐ」

年頭所感



社会医療法人河北医療財団 河北総合病院 病院長 鎌田孝一

波乱の幕開けとなった2024年

2024年4月より河北総合病院の院長を拝任いたしました鎌田孝一です。専門は整形外科で東海大学医学部を1993年に卒業し、順天堂大学整形外科学教室に入局。山内裕雄教授、黒沢尚教授、金子和夫教授、野沢雅彦教授、石島旨章教授のもと大学病院を中心に仕事をしてきました。縁あって2018年に河北総合病院に赴任して現在に至っています。

2024年は1月1日に能登半島地震が発生し、1月2日にはその震災の救助活動に向かう予定だった海上保安庁の航空機と日本航空の旅客機が滑走路で衝突する事故もありました。

年初めから波乱万丈を予感させましたが、河北総合病院も全日本病院協会 AMAT 隊として、1月から3月末までの3カ月間、恵寿総合病院（七尾市）に看護師2名等の派遣協力を行いました。東日本大震災の経験を踏まえ、よりお互いを支えあう体制が構築されてきており、日本の医療が災害時にもしっかりと対応できることを証明できたと思います。

足元をみると、ポストコロナ（2023年5

月8日の5類感染症移行後）は当院のような急性期病院が、コロナ禍以前のように患者数が回復せず、苦戦を強いられています。また、2024年6月の診療報酬改定により、急性期病院には、手術、カテーテル治療、内視鏡治療などの処置のある患者さんを積極的に受け入れ治療することが求められています。

質の高い^{おもいやり}怒のある医療提供で
患者満足度を高めていく

当院は医師、看護師、薬剤師、放射線技師だけでなく、職員全員が意識を高め同じ方向を向くことで多くの患者さんを受け入れ診察・治療を行っています。まだ大幅な黒字予算達成まではいきませんが、2023年度と比べて病院の経営状態もV字回復してきています。

サービス業も含め、一般的な経営手法では、「より良い製品を作れば顧客満足度が向上し、会社の経営が安定・成長する」といわれています。

医療にすべてが当てはまるとは限りませんが、顧客（患者さん）満足度を向上し、地域の医師や患者さんの要望に応えられる組織を作ることが病院経営や成長に寄与す

ることになると私は考えています。

その患者さんの満足度を向上させるためには、①医療の質を高めること。②接遇を向上させること。③アメニティを充実させること、の3つの要素があります。

①医療の質については、内科、外科を問わず各専門分野の医師を揃え、1学年11名（計22名）の初期臨床研修医がその指導医からの指導を受けられる体制が整っています。

上質な医療を患者さんに提供するだけでなく、良い研修医を育てることが、次世代の河北総合病院の中心を担ってもらう人材育成の中心になり、質の高い医療の提供を継続できると考えています。

②接遇を向上させることについては患者さんと同じ目線に立ち、気持ちに寄り添いながら、治療に対する共通理解が得られるように全職員に意思統一していきたいと思っています。当院の目的でもある「質の高い^{おもいやり}（おもいやり）のある医療の提供」です。

そして、③アメニティの充実です。2025年7月に河北総合病院は、隣地に移転を予定しています。もともと、JR阿佐ヶ谷駅から徒歩5分の良い立地にありましたが、一番古い建物が築約70年と老朽化を否定できなくなってきました。

新たな河北総合病院へ

幸い、現在の病院のすぐ横（阿佐ヶ谷駅寄り）に移転場所が確保でき、地上9階建ての新病院になります。現在の本院、分院機能を集約し、353床の急性期DPC病院に

変わります。

一般外来の設備面においては、病院の天井が高くなり、カフェが入店することで快適な空間を提供できるだけでなく、多くのモニターを設置し、診療の待ち時間を患者さんに分かりやすく表示できるようになります。病棟のセキュリティは最新のものを導入し、全ベッドがスマートベッドとなっています。

看護体制は、セル看護提供方式[®]を採用し、より患者さんの近くで看護提供をできるだけでなく、看護師の動線、配置を効率化することができるようになります。

患者さんに寄り添う時間が増えることになり、^{おもいやり}「怒」の美しい看護という看護部理念の実現にも向けた取り組みになります。

また、医師、看護師、薬剤師は、院内電話だけでなく、院内チャットで連携が取れるようになります。患者さんに必要な情報が共有しやすくなるだけでなく、作業の効率化にも関与し、残業時間の減少を目指します。

このように、正しい知識と経験を兼ね備えた医療スタッフの充実と患者さんにとって心地よいホスピタリティを提供することで、地域の皆様の健康と医療に貢献していくことができると考えています。

まだまだ新病院で行う新しいことがたくさんあります。私だけでなく、職員全員がワクワクしていることでしょう。

2025年の河北総合病院に、ぜひご期待ください。